

2015年 3月期 中間決算説明会



株式会社エフピコ
2014年 11月13日



2007年4月
第一回「平成18年度容器包装3R推進 環境大臣賞」
製品部門 最優秀賞を受賞

http://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_approach/



2009年3月
(社)全国重度障害者雇用事業所協会より
障がい者雇用優良企業認定を取得
(ハートフル・リボン・マーク)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougaiasha/dl/110420-1.pdf>



2011年2月
(財)日本環境協会より
第一回「エコマークアワード2010」金賞を受賞

http://www.ecomark.jp/award/award_2010.html



2011年4月
環境大臣に対し環境先進企業として「エコ・ファーストの約束」を行い
「エコ・ファースト企業」として認定

<http://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/index.html>

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

=目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	経理財務本部長	池上 功	3
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	15
◆ <u>企業規模拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	25
◆ 添付資料			39

2015年3月期〈53期〉 第2四半期累計

経理財務本部長
池上 功

FP Corporation 3

決算概要 (2015年3月期〈53期〉第2四半期累計実績)

単位: 百万円	第2四半期累計実績							上期計画			通期計画		
	'14/3月期 実績 構成比		'15/3月期 実績 構成比		増減	前年比	数量	'15/3月期 計画 構成比		達成率	'15/3月期 計画 構成比		進捗率
トレー	13,807	17.1	13,884	17.3	+76	100.6%	98.8%	13,820	16.8	100.5%	27,930	16.7	49.7%
弁当・惣菜	42,237	52.5	42,605	53.0	+368	100.9%	99.6%	43,280	52.6	98.4%	86,370	51.7	49.3%
小計	56,044	69.6	56,490	70.3	+445	100.8%	99.3%	57,100	69.4	98.9%	114,300	68.4	49.4%
その他製品	3,179	3.9	3,271	4.1	+92	102.9%		3,200	3.9	102.2%	6,700	4.0	48.8%
製品売上高	59,224	73.6	59,761	74.3	+537	100.9%		60,300	73.3	99.1%	121,000	72.5	49.4%
包装資材	16,851	20.9	16,078	20.0	△772	95.4%		17,560	21.3	91.6%	37,200	22.3	43.2%
その他商品	4,438	5.5	4,556	5.7	+117	102.7%		4,440	5.4	102.6%	8,800	5.3	51.8%
商品売上高	21,290	26.4	20,635	25.7	△654	96.9%		22,000	26.7	93.8%	46,000	27.5	44.9%
売上高	80,514	100.0	80,397	100.0	△117	99.9%		82,300	100.0	97.7%	167,000	100.0	48.1%
営業利益	4,930	6.1	4,023	5.0	△907	81.6%		4,570	5.6	88.0%	10,340	6.2	38.9%
経常利益	5,112	6.4	4,741	5.9	△371	92.7%		5,200	6.3	91.2%	11,100	6.6	42.7%
四半期(当期)純利益	3,108	3.9	2,991	3.7	△117	96.2%		3,200	3.9	93.5%	6,840	4.1	43.7%
償却前経常利益	9,707		9,879		+171	101.8%		10,200		96.9%	22,335		44.2%

■ 販売

製品> 汎用品を中心とした価格競争は落ち着きを取り戻すも、前期下期に行った一部不採算取引見直しが影響
当社オリジナル製品の販売は好調

出荷枚数 : 前年比99.3%
トレー容器 : 再生原料を使用した「エコトレー」「エコAPET」を拡販
弁当・惣菜容器 : 電子レンジ加熱が可能なPPSAシリーズが好調
従来素材のOPSからOPET、新透明PPへの切替えを実施

商品> 共同配送事業が拡大、ピッキングセンター投資の効果が顕在化し始めるも、グループ会社で一部商流見直しを実施



◇ 生産

OPET(二軸延伸PET)、新透明PPなどオリジナル製品の生産設備増強

◇ 物流

福山クロスドックセンターの稼働により在庫保管効率向上と出荷業務の大幅改善

◇ 環境

回収量拡大により地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

FP Corporation 4

経常利益計画進捗状況 (2015年3月期<53期>第2四半期累計実績)

単位: 億円



FP Corporation 5

経常利益計画見通し (2015年3月期<53期>計画)

単位: 億円



上期 下期

FP Corporation 6

設備投資・研究開発費 (2015年3月期<53期>第2四半期累計実績)

単位: 百万円	第2四半期累計 実績				上期 計画		通期 計画	
	'14/3月期 実績	'15/3月期 実績	増減	前年比	'15/3月期 計画	進捗率	'15/3月期 計画	進捗率
有形固定資産	12,984	15,055	+2,071	116.0%	14,470	104.0%	25,800	58.4%
うち土地	(4,140)	(137)	(△4,002)	(3.3%)	(480)	(28.7%)	(480)	(28.7%)
無形固定資産	188	129	△59	68.6%	75	172.8%	200	64.8%
設備投資	13,172	15,185	+2,012	115.3%	14,545	104.4%	26,000	58.4%
土地を除く設備投資	(9,032)	(15,047)	(+6,015)	(166.6%)	(14,065)	(107.0%)	(25,520)	(59.0%)
設備費用	4,747	5,269	+522	111.0%	5,120	102.9%	11,455	46.0%
うち減価償却費	(4,594)	(5,137)	(+542)	(111.8%)	(5,000)	(102.8%)	(11,235)	(45.7%)
研究開発費	576	549	△27	95.3%	575	95.6%	1,270	43.3%

【主な設備投資】

単位: 百万円	投資総額	上期実績	通期計画
◆ OPET(二軸延伸PET) 製造設備の増設	2,851	2,689	2,689
◆ 新透明PP製造設備の増設		408	2,600
◆ 「エフピコ総合研究所」開発・研修棟 '14年 12月 完成予定	2,450	833	2,200
◆ 物流施設の整備			
福山クロスドックセンター '14年 8月 稼働	4,250	1,709	2,610
八王子 新物流拠点 配送センター '14年 11月 稼働	14,540	5,917	6,860
ビッキングセンター '15年 2月 稼働予定			
二期工事 '15年 8月 完了予定			
◆ 金型		1,492	2,360
◆ IT投資		173	450
■ 【M&A】			
■ 西日本ペットボトルリサイクル㈱ '14年 6月 連結子会社化 ⇒PETリサイクル事業の拡充			
■ ㈱みやこひも '14年 10月 完全子会社化 ⇒包装資材用品の販売拡大			



貸借対照表 (2015年3月期<53期>第2四半期累計実績)

単位: 百万円	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間			
	'14/3月期 '14/3/31	'14/9/30	増減	'15/3月期 前年比	主な増減内訳
流動資産	72,001	77,932	+5,930	108.2%	受取手形及び売掛金 +4,723 原材料及び貯蔵品 +541
固定資産	108,475	118,386	+9,910	109.1%	有形固定資産 +10,284
資産合計	180,476	196,318	+15,841	108.8%	
流動負債	59,476	69,161	+9,684	116.3%	買掛金 +846 短期借入金 +308 未払金 +7,293
固定負債	40,938	44,759	+3,820	109.3%	長期借入金 +4,120
負債合計	100,414	113,920	+13,505	113.4%	
純資産合計	80,062	82,397	+2,335	102.9%	利益剰余金 +1,726
負債純資産合計	180,476	196,318	+15,841	108.8%	

- ◇ 資産 生産、物流を中心とした戦略投資により有形固定資産が増加
- ◇ 負債 戦略投資の原資として長期借入金が増加
- ◇ 純資産 経営体質の充実強化、および事業拡大に向けた機動的な対応への備えとして内部留保の充実へ

キャッシュ・フロー (2015年3月期〈53期〉第2四半期累計実績)

単位: 百万円	第2四半期累計 実績		
	'14/3月期 実績	実績	'15/3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	7,685	4,684	税金等調整前当期純利益 4,646 減価償却費 5,137 売上債権の増加 △ 4,536 仕入債務の増加 761 法人税等の支払 △ 1,491
投資活動によるC/F	△ 3,958	△ 5,661	有形固定資産の取得 △ 5,388
フリーキャッシュフロー	3,726	△ 976	
財務活動によるC/F	74	1,079	借入金等の純増加額 4,428 リース債務の返済 △ 2,002 配当金の支払額 △ 1,345
現金及び現金同等物の増減額	3,801	103	
現金及び現金同等物の期末残高	17,861	16,256	

昨年度末に実施した手形流動化、休日の影響等により営業CFは前年より減少

将来の利益獲得に向け、オリジナル製品の生産設備増強、福山および八王子物流拠点等の戦略投資を実施

2015年3月期〈53期〉 計 画

＝ご参考＝

決算計画概要 (2015年3月期〈53期〉計画) 2014年5月13日 説明会

単位:百万円	通期実績		通期計画				上期計画			
	'14/3月期 実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	27,792	17.2	27,930	16.7	+137	100.5%	13,820	16.8	+12	100.1%
弁当・惣菜	83,999	52.1	86,370	51.7	+2,370	102.8%	43,280	52.6	+1,042	102.5%
小計	111,791	69.4	114,300	68.4	+2,508	102.2%	57,100	69.4	+1,055	101.9%
その他製品	6,614	4.1	6,700	4.0	+85	101.3%	3,200	3.9	+20	100.6%
製品売上高	118,406	73.5	121,000	72.5	+2,593	102.2%	60,300	73.3	+1,075	101.8%
包装資材	33,920	21.1	37,200	22.3	+3,279	109.7%	17,560	21.3	+708	104.2%
その他商品	8,793	5.5	8,800	5.3	+6	100.1%	4,440	5.4	+1	100.0%
商品売上高	42,714	26.5	46,000	27.5	+3,285	107.7%	22,000	26.7	+709	103.3%
売上高	161,121	100.0	167,000	100.0	+5,878	103.6%	82,300	100.0	+1,785	102.2%
営業利益	9,760	6.1	10,340	6.2	+579	105.9%	4,570	5.6	△360	92.7%
経常利益	10,054	6.2	11,100	6.6	+1,045	110.4%	5,200	6.3	+87	101.7%
当期純利益	6,137	3.8	6,840	4.1	+702	111.4%	3,200	3.9	+91	102.9%
償却前経常利益	19,758		22,335		+2,576	113.0%	10,200		+492	105.1%

■ 販売

製品> 新機能・新デザイン容器、当社オリジナル製品を中心に拡販

- 出荷枚数 : 前年比102.7%の伸長
- トレー容器 : 再生原料を使用した「エコトレー」「エコAPET」を拡販
- 弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱発泡容器のマルチFP、その端材を活用した非発泡容器のマルチソリッド、OPET(二軸延伸PET)、新透明PP等の販売増を見込む

商品> 全国をフルカバーする物流ネットワークを最大限に生かし、包装資材の取扱量を拡大

◇ 生産

独自素材の生産設備増強、研究開発拠点強化による新素材・新製品開発のスピードアップと品質向上

◇ 物流

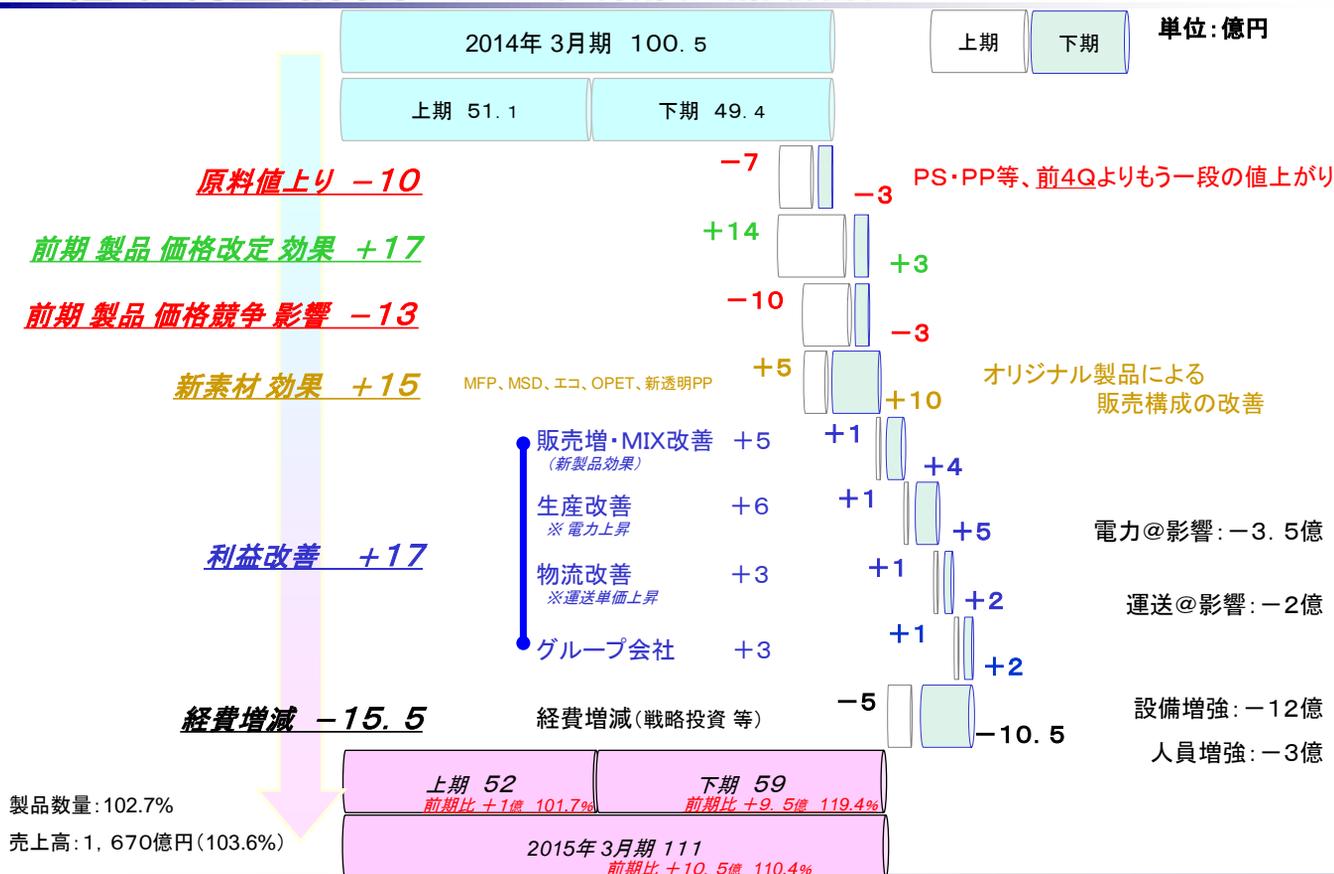
全国を網羅する物流ネットワークの整備を継続
福山、八王子物流拠点の稼働を開始、更なるサービスレベルの向上へ

◇ 環境

地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、再生原料メーカーとして原材料価格での優位性を確保

経常利益計画 (2015年3月期<53期>計画)

2014年5月13日 説明会



FP Corporation 13

設備投資・研究開発費計画 (2015年3月期<53期>計画)

2014年5月13日 説明会

単位: 百万円	通期実績	通期計画			上期計画		
	'14/3月期実績	'15/3月期計画		'15/3月期計画		増減	前年比
有形固定資産	19,750	25,800	+6,049	130.6%	14,470	+1,485	111.4%
うち土地	(4,140)	(480)	(Δ3,660)	(11.6%)	(480)	(Δ3,660)	(11.6%)
無形固定資産	506	200	Δ306	39.4%	75	Δ113	39.7%
設備投資 (リース調達含む)	20,257	26,000	+5,742	128.3%	14,545	+1,372	110.4%
土地を除く設備投資	(16,117)	(25,520)	(+9,402)	(158.3%)	(14,065)	(+5,032)	(155.7%)
設備費用	10,000	11,455	+1,454	114.5%	5,120	+372	107.9%
うち減価償却費	(9,703)	(11,235)	(+1,531)	(115.8%)	(5,000)	(+405)	(108.8%)
研究開発費	1,148	1,270	+121	110.6%	575	Δ1	99.7%

※研究開発施設の強化

主な設備投資		単位: 百万円	投資総額	当期計画
◆ OPET (二軸延伸PET) 製造設備の増設			2,670	2,505
◆ 透明PP製造設備の増設				2,270
◆ 開発・研修棟			2,450	2,200
◆ 物流施設の整備				
福山物流拠点	倉庫 '14年7月、ソーター '14年11月 稼働予定		4,250	2,610
八王子物流拠点	第1期: 配送C '14年10月 稼働予定		13,800	6,860
	ピッキングC '15年2月 稼働予定			
	第2期: 配送C '15年9月 稼働予定			
◆ 金型				2,360
◆ IT投資				450



FP Corporation 14

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

決算のポイントと今後の見通し

製品戦略 オリジナル製品 拡販

> 世界初の素材・機能

- ◇ マルチFP(MFP)、マルチソリッド(MSD)
- ◇ OPET(二軸延伸PET) 透明容器
- ◇ 新透明PP容器

> 持続的な新製品投入

- ◇ 「エピコフェア2014」効果
- ◇ 新デザイン容器
- ◇ 新機能容器

> 再生レジンメーカーへ

- ◇ 「エコトレ」
- ◇ 「エコAPET」



戦略投資

- ☆ 福山クロストックセンター 2014年8月稼働
- ☆ 八王子配送センター 新物流拠点 2014年11月 配送C稼働
2015年2月 ビッキングC稼働予定
2015年8月 第二期工事完了予定
- ☆ 「エピコ総合研究所」開発・研修棟 2014年12月 竣工予定
- ☆ OPET(二軸延伸PET)シート押出2号機 稼働、成型ライン 増設
- ☆ 新透明PP生産ライン 増強
- ☆ PET生産ライン 増強
- ☆ 新中部 PET一貫生産工場 来期の稼働に向けて準備中

地上資源循環への取組み

- ◇ 障がい者雇用
- ◇ 西日本ペットボトルリサイクル機をグループに 2014年6月

原材料価格高騰への対応

- ◇ 備みやこひもをグループに 2014年10月

徹底した社内改善

売上高計画
1,670億 前期比103.6%

経常利益計画
111億 前期比110.4%

設備投資計画
260億(土地5億)

上期
47.4億 前期比92.7%

目標とする 経営指標
1株当たり純利益 225円

原材料価格高騰への対応

- ☆ **新製品への切替** MFP、MSD、OPET、新透明PP、エコ
- ☆ **前期には製品価格改定**

並行して **バージンからエコへ** **OPSからPET・OPET・新透明PPへ** 切り替え

- ★ **各社価格改定発表するも、量の拡大へ**
- ★ **汎用製品で価格競争続く**
- ⇒ **一部の不採算取引より撤退**

- ◇ **今期に入り各社再度価格改定を発表**
- ◇ **価格競争は落ち着きを取り戻す**

製品戦略 顧客ニーズに対応した製品開発

☆ **オリジナル製品：売上構成比を高め収益改善と安定を図る**

参考資料：44頁

マルチFP(MFP) チルドからレンジアップまでカバーする発泡PS容器
マルチソリッド(MSD) MFPの端材を活用した非発泡PS容器
 MFP+MSD 前期売上高103億円

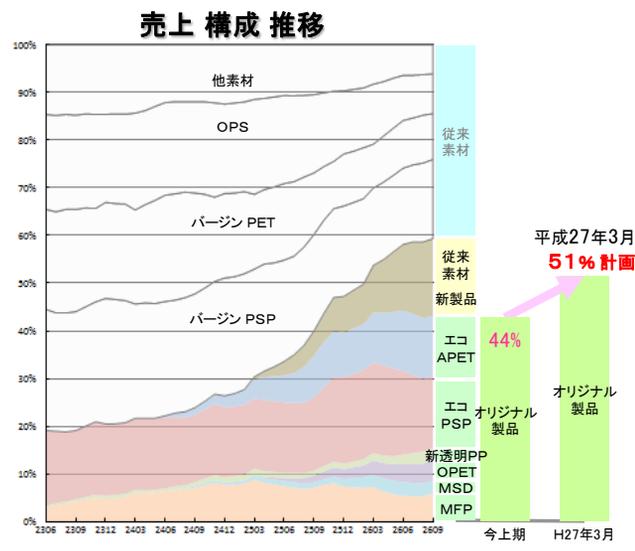
OPET(二軸延伸PET) OPSの問題点を克服したPET透明容器
 シート押出2号機稼働 関東+福山生産体制へ
 OPS透明蓋⇒OPET透明蓋
 OPSフードパック⇒OPETフードパック
 新中部PET一貫生産工場 来期稼働予定

新透明PP レンジアップ対応透明容器
 ライン改造とライン増設 二軸延伸への挑戦
 PPSAシリーズ拡販
 フードパック・嵌合フードパック上市

エコトレー リサイクルPSP容器
 前期売上高189億円

エコAPET リサイクルPET透明容器
 新中部PET一貫生産工場 来期稼働予定
 前期売上高99億円

新機能容器・新デザイン容器
 漏れ難い、内容物がズレ難い、ツマの削減、ボリューム感の訴求、...



エフピコフェア2014
 2014年3月11日～13日
 ユーザー様を中心に1万3千名様 来場
知恵と工夫百選

☆ **汎用製品：徹底した原価低減により販売増に備える**

流通コスト低減と物流インフラ整備

福山クロスドックセンター 2014年8月稼働



地上3階建
延床面積 10,200坪
投資額 43億円

八王子配送センター

2014年11月配送C稼働
2015年2月ピッキングC稼働予定
2015年8月第二期工事を完了予定



地上5階建
延床面積 23,700坪
投資額 145億円

九州物流拠点 2013年7月拡充



地上3階建
延床面積 5,700坪
投資額 18億円

関西物流拠点 2013年10月拡充



地上5階建
延床面積 11,800坪
投資額 46億円



2ppmの
ピッキングクオリティ

2015年度末

	2015年度末	2012年比
配送センター	14万44百坪	116%
ピッキングセンター	4万00百坪	126%

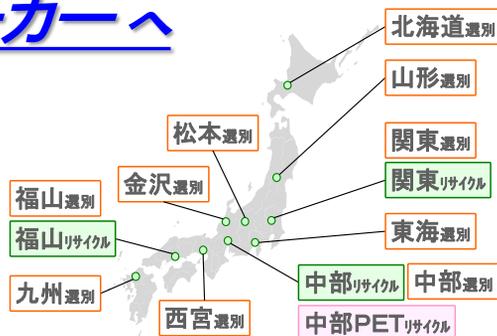
地上資源循環への取組み

再生レジンメーカーへ

環境と障がい者雇用が一体化した事業

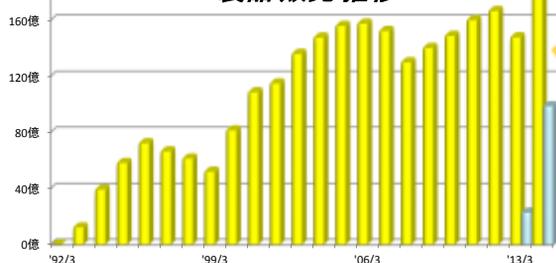
障がい者雇用数: **638** (雇用実人数367名+43名) 2014年9月末

- ・特例子会社
- ・就労継続支援A型事業所 雇用率: **16.0%** 2014年3月末



・選別センター: 10
・リサイクル工場: 3
・PETリサイクル工場: 1

エコ製品販売推移



エコトレー(PSP) 1992年3月上市
2014年3月期 **189**億円を販売

エコAPET 2012年5月上市
2014年3月期 **99**億円を販売

「環境立国・日本」

2014年6月

西日本ペットボトルリサイクル(株)をグループに加え、PETリサイクル生産体制の強化

新中部PET一貫生産工場

回収
PETトレイ

回収
PETボトル

リサイクル
PETフレーク

シート
押出

製品成型

エコPET製品



PETメカニカルリサイクル × 2



建設予定地

容器選別・PSリサイクル

PETリサイクル

中部配送センター
ピッキングセンター



地上3階建
延床面積 7,200坪
投資額 80億円を見込む

来期の稼働に向けて準備中

戦略投資

★物流

- ・福山クロスドックセンター 2014年8月稼働
- ・八王子配送センター (新物流拠点) 2014年11月配送C稼働
2015年2月ピッキングC稼働予定
2015年8月第二期工事完了予定

★生産

- ・OPETシート押出し2号機 (関東八千代工場) OPET成型ライン 増設 (福山神辺工場)
- ・MFP・MSD生産ライン 増強
- ・新透明PP生産ライン 増強
- ・PET生産ライン 増強
- ・新中部PET一貫生産工場 来期稼働予定

★開発

- ・「エピコ総合研究所」開発・研修棟 2014年12月竣工予定



福山クロスドックセンター

ピッキングセンター

コンベアー棟

クロスドックセンター
13,579㎡
10000坪 (23,250坪×2)

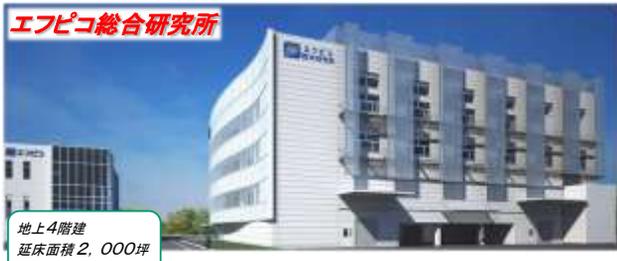
地上3階建
延床面積 10,200坪
投資額 43億円



八王子配送センター

第二期工事

地上5階建
延床面積 23,700坪
投資額 145億円



エピコ総合研究所

地上4階建
延床面積 2,000坪
投資額 25億円

2015年3月期 設備投資 260億円を計画

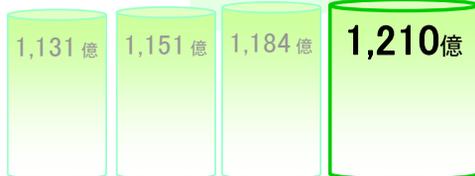
(内、土地5億円)

中期目標

経常利益率 12%

5千億円マーケットでのシェア拡大

製品



- ☆ 世界初のシート・素材
- ☆ 新マーケット創造
- ☆ 持続的な新製品投入
- ☆ M & A
- ◇ グローバルマーケット



2兆円マーケットへの挑戦

商品



- ☆ BtoB 取組 加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送
- ☆ M & A

経常利益率 6%



売上高 1,557億 1,582億 1,611億 1,670億

経常利益 149.5億 151.2億 100.5億 111億

設備投資 124億 151億 203億 260億

減価償却 97.3億 97.5億 97.0億 112億

償却前経常利益 246.8億 248.7億 197.5億 223億

50期 51期 52期 53期計画

3,000億

300億

中期目標

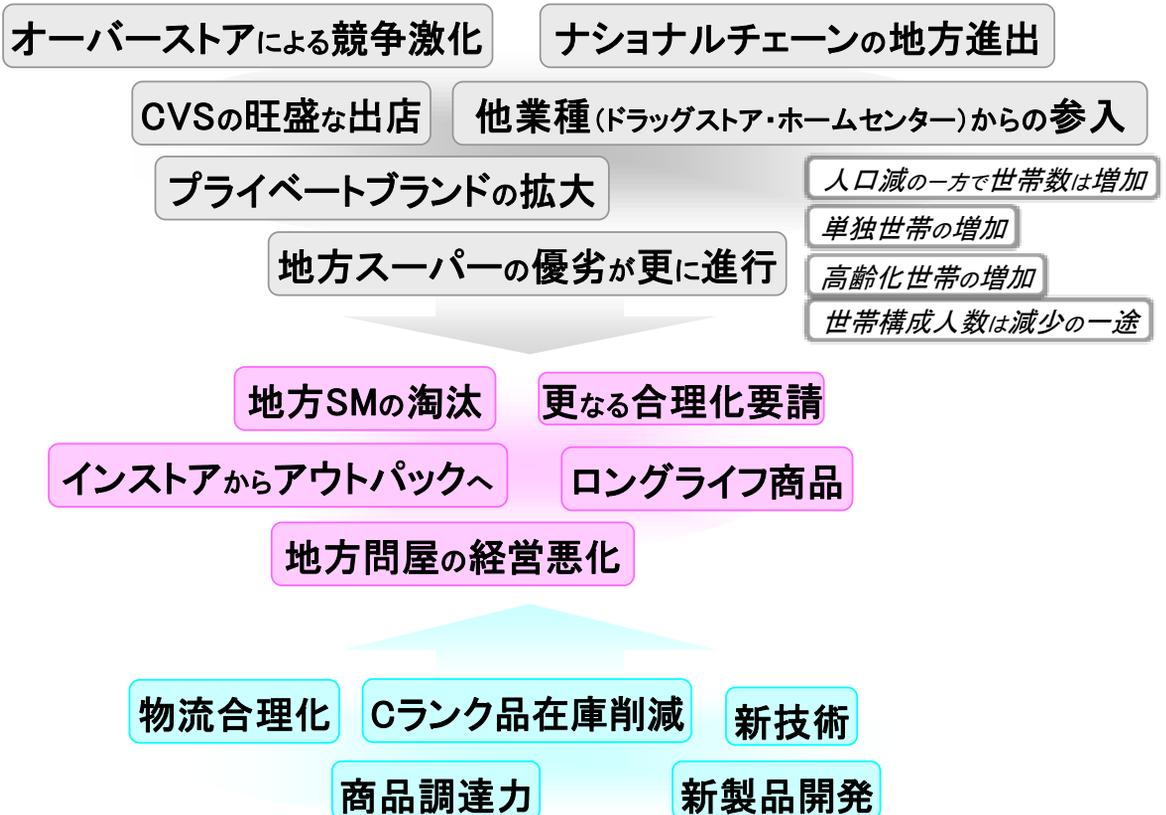
目標とする 経営指標
1株当たり純利益 225円

<戦略投資先行>

企業規模拡大に向けて

代表取締役社長
佐藤 守正

マーケットの状況



透明容器素材の切り替え

OPS 二軸延伸ポリスチレン

- ☆ 透明性: 標準的
- ☆ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性: 劣る
- ★ 軽量化に限界

OPET 二軸延伸ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 透明性: 高い
- ☆ 耐熱性: +80°C
- ☆ 耐油性: 優れる
- ☆ 延伸による軽量化が可能
- ★ 成型が難しい

安全・安心

新マーケット
創造

- > OPETシート押出機 2ライン体制へ
- > 関東+福山地区に成型ライン増設
- > 新中部PET一貫生産工場 来期稼働予定

新透明PP ポリプロピレン

- ☆ 透明性: 標準的 (OPSと同等)
- ☆ 耐熱性: +110°C
- ☆ 耐油性: 優れる

- > 成型ライン改造・増設により生産量アップ
- > 二軸延伸への挑戦 (軽量化・透明性向上)

FP Corporation 27

PPSAシリーズ「生鮮が売れない」そんな悩みを解決

<生鮮食品の課題>

- ✓ 量目が、個食に対応できていない。
- ✓ 料理離れへの対応ができていない。
- ✓ 余計な味をつけると、好みに合っていない。
- ✓ 加熱するだけで美味しいことが伝わっていない。



- ◆ 旬
- ◆ 地産地消
- ◆ 無添加
- ◆ 有機栽培

- 素材の味
- 個食量目
- すぐ食べれる生鮮商品

「フレッシュレンジ・デリ」の展開

FP Corporation 28

コ・クリエーション型 営業事例

九州エリア...〇〇食品

〇〇食品 (食品加工)

A-コープ〇〇〇

エフピコ 〇〇包装 (問屋)

関東エリア...〇〇物産

日本〇〇 (問屋)

エフピコ

〇〇物産 (食品加工)

カテゴリーキラー

近畿
関西〇〇
など

中四国
〇〇フーズ
など

九州
〇〇食品
など

(Co・Creation:協働して共に新たな価値を創造する)
FP Corporation 29

売り場 提案

1 温惣菜

「静岡方式」で拡販

- ・地域一番SMへ落とし込み、エリア内全切替
(〇〇ストア→〇〇ストア→〇〇東海)
- ・素材特性 電子レンジデモ ※その他試食デモ

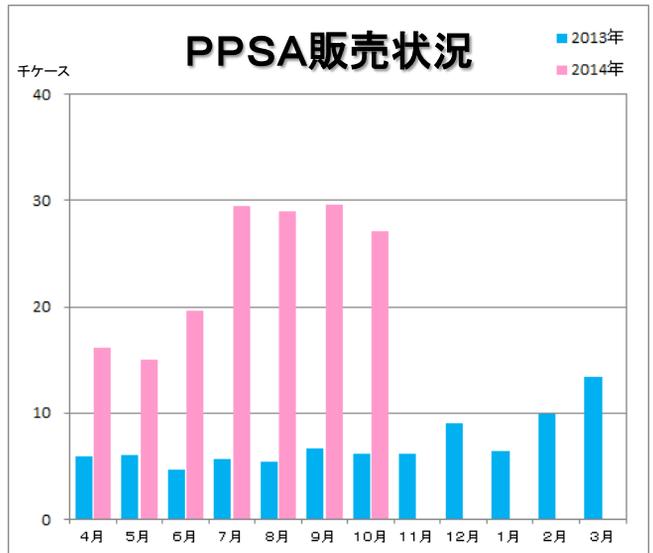
2 生鮮 フレッシュレンジ・デリ

「クッキングサポート」企業を集中的に営業

- ・中身の充実...カット野菜バンダーとの連携
- ・消費者の認知度UP(ニーズの掘り起こし)

3 雑貨ルート

フレッシュレンジ・デリと連動しクロスMD
問屋店売り・市場店舗売り場拡大



クッキングサポート

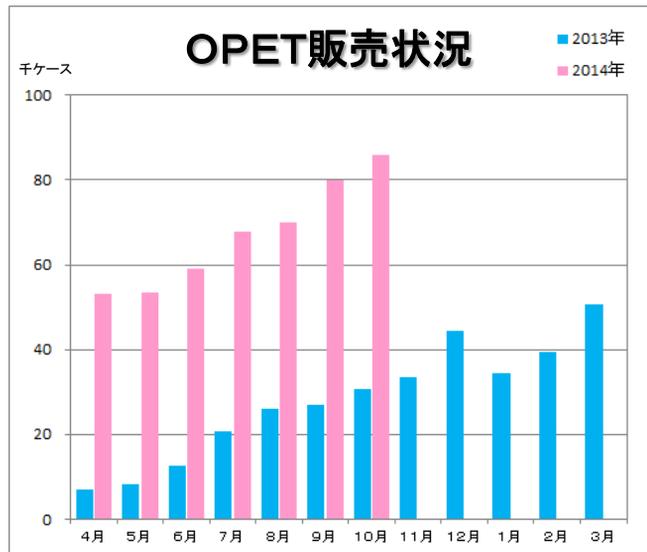
クロスMD売場

雑貨売場



OPET(二軸延伸PET)の状況

- ☆ 透明性: 高い
- ☆ 耐熱性: +80°C
- ☆ 耐油性: 優れる
- ☆ 延伸による 軽量化が可能
- ☆ 成型が 難しい



供給体制

シート押出 関東八千代工場 2ライン

製品成型 関東八千代工場 7ライン
福山神辺工場 4ライン



新中部 PET一貫生産工場 来期稼働予定

シート押出 1ライン +α

製品成型 4ライン +α

物流ネットワーク整備

物流ネットワーク整備 へ向けた ロードマップ

2013年度

2014年度

2015年度

インフラの増強

九州



5,500坪

2013年7月

関西



11,000坪

2013年10月

福山XDC



10,200坪

2014年8月 倉庫、10月ソーター

八王子



2014年11月 配送C、2015年2月ピッキングC
2015年8月 第二期工事

出荷能力アップ

第一期 18,200坪
第二期 5,500坪

トータルコスト削減

スピード・精度向上へのシステム構築

ルートプランナー

S&S システム

ソフト&スケジュール・システム

生産性アップ

RDチェックシステム

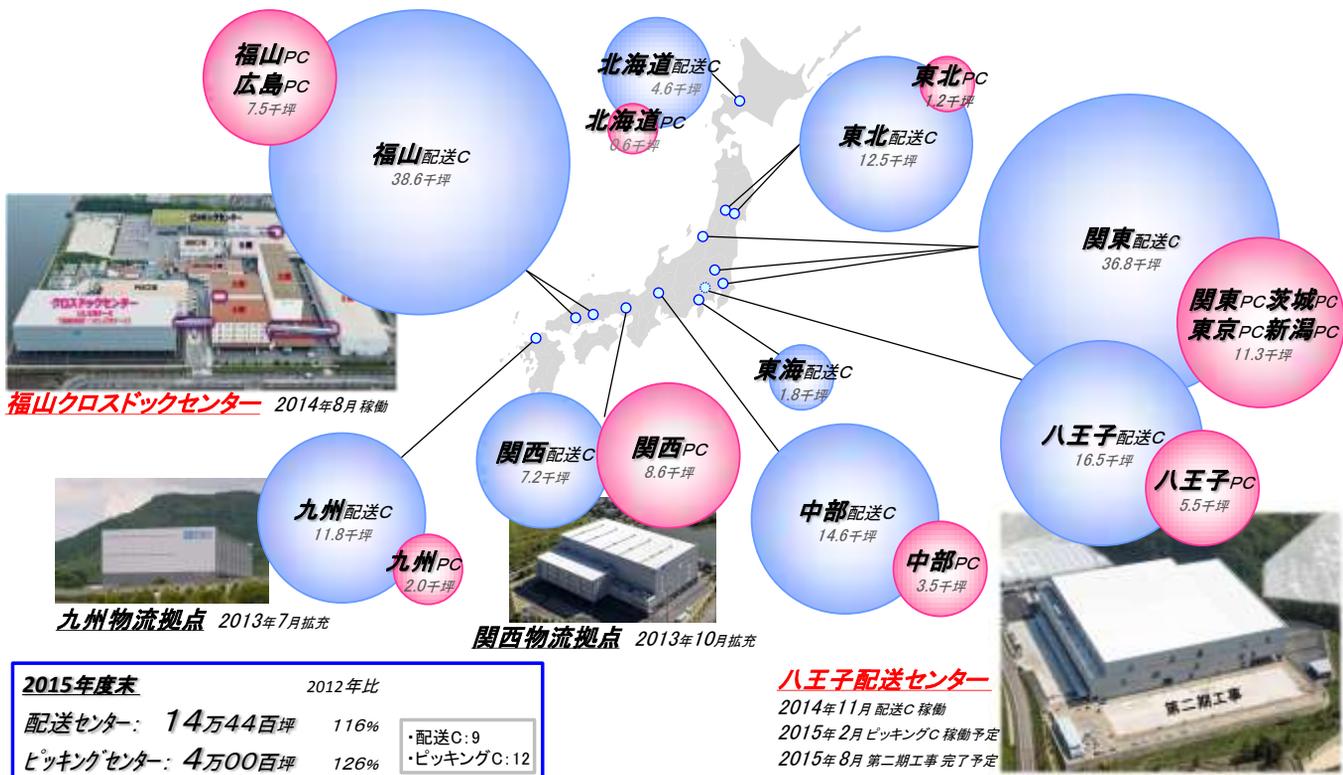
リアルデリバリー・チェックシステム

音声ピック

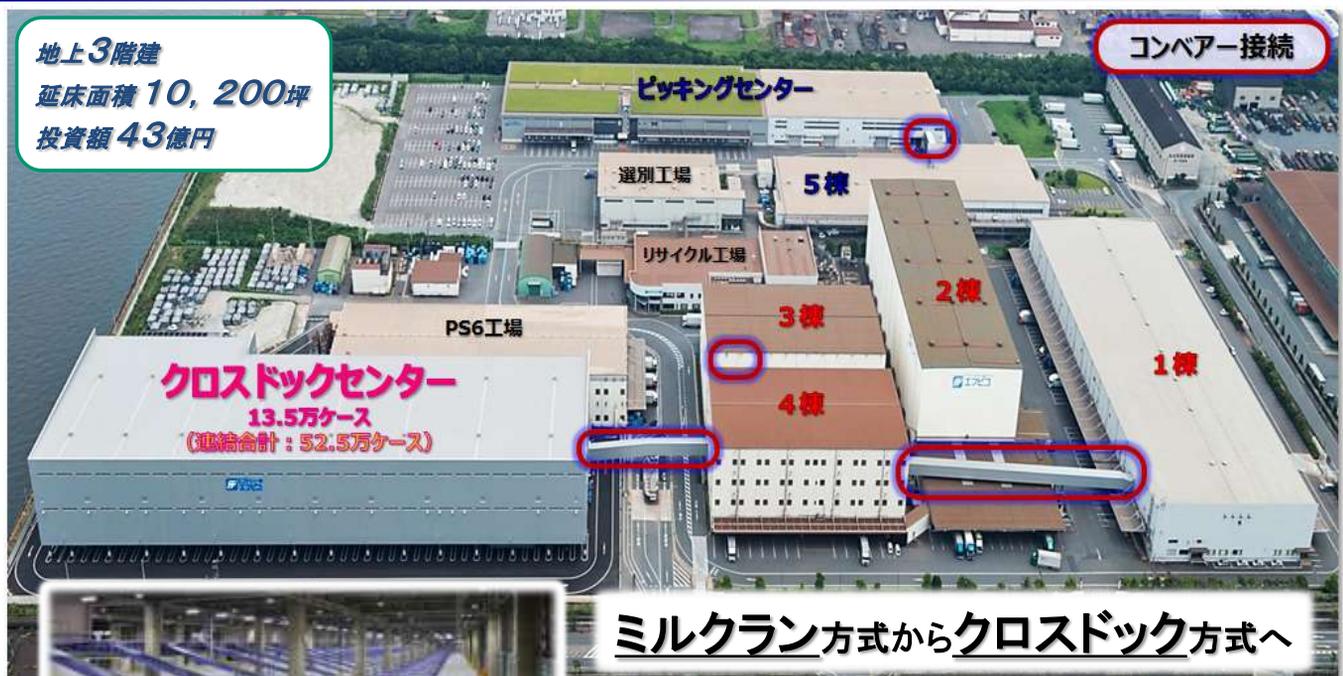
梱包サイズ最適化

物流ネットワーク整備 インフラの増強

高品質で効率的な物流サービスで全国をフルカバー



福山クロスドックセンター 2014年8月稼働



- ☆ ドライバー拘束時間の削減: 1～1.5時間/台
- ☆ 借庫から自社物件へ集約

- ・ 東西より関東全域をカバー
- ・ トータルコスト削減、借庫返却
- ・ リスク分散

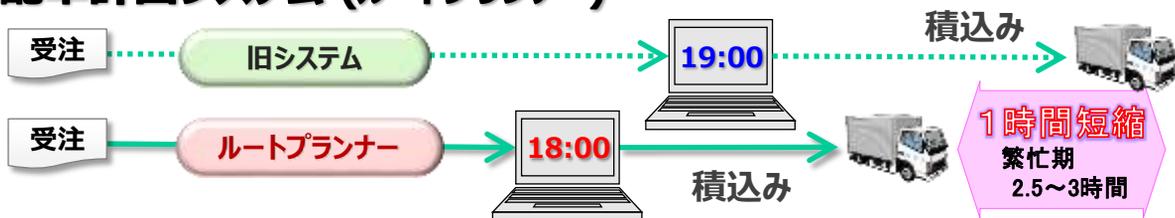


地上5階建
延床面積 23,700坪
投資額 145億円

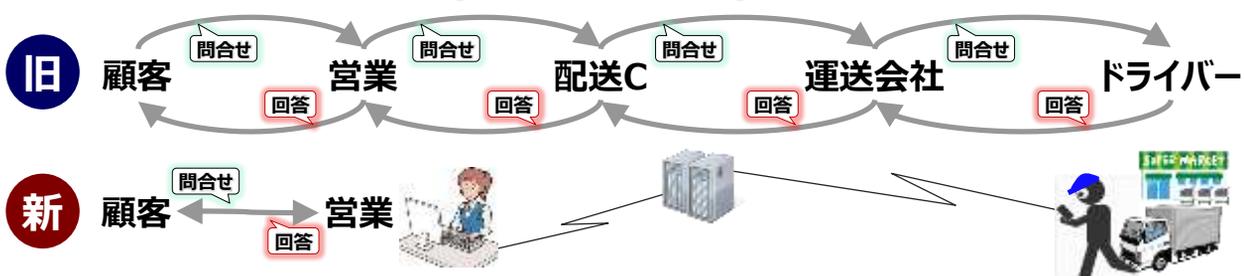


物流ネットワーク整備 システム構築

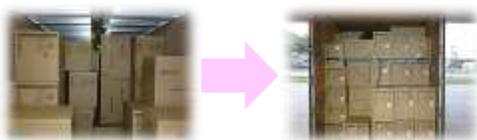
《1》配車計画システム (ルートプランナー)



《2》配送状況確認システム (RDチェックシステム) リアルデリバリー・チェックシステム



《3》製品梱包サイズ最適化の検討



新規グループ会社-1

2014年 6月

西日本ペットボトルリサイクル(株)

福岡県北九州市若松区



- ◇ 設立:平成10年4月営業開始(日本最初の経済産業省エコタウン事業)
 - ◇ 事業内容:回収ペットボトルをマテリアルリサイクルし、再生PET樹脂を生産
 - ◇ ペール処理能力:24,000ト/年
 - ◇ 持ち株比率:(株)エフピコ52.45% 帝人(株)14.65% 新日鐵住金(株)9.90% 日本通運(株)9.00% 山九(株)9.00% 北九州市5.00%
- ※公益法人日本容器包装リサイクル協会のPETボトル再生事業者として
最大規模の入札参加資格を保有

PETリサイクル事業の 拡充

FP Corporation 37

新規グループ会社-2

2014年 10月

エフピコみやこひも(株)

(株)みやこひも

東京都墨田区



- ◇ 設立:昭和32年4月
 - ◇ 事業内容:包装資材用品の販売・卸
- ※大正10年の創業以来90年余にわたり、食品を中心とした包装資材用品を取り扱う

包装資材消耗品事業の 拡大

FP Corporation 38

添付資料

用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP(MFP) : $-40^{\circ}\text{C}\sim+110^{\circ}\text{C}$ の耐寒・耐熱性をそなえ、耐油・耐酸性及び断熱性に優れた発泡PS容器

マルチソリッド(MSD) : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器
耐熱温度 $+110^{\circ}\text{C}$

OPET透明容器 : 二軸延伸PETシートから成型した、耐油・耐酸性に優れ、透明度も高く、
OPSと同等の耐熱性を実現したPET透明容器 耐熱温度 $+80^{\circ}\text{C}$

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度 $+110^{\circ}\text{C}$

PPSAシリーズ : 嵌合フードパックタイプの新透明PP容器 耐熱温度 $+110^{\circ}\text{C}$

OPS透明容器 : 従来からの二軸延伸PSシートから成型した透明容器 耐熱温度 $+80^{\circ}\text{C}$

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器
(平成4年販売開始)

エコAPET : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とする
リサイクルPET透明容器(平成24年販売開始)

フードパック : スーパーの揚げ物バイキングコーナーなどで使用される、蓋(フード)と本体が一体となった汎用透明容器

クロスドックセンター : お客様にお届けする製品を、個別の配送トラックが在庫倉庫を廻って積込むミルクラン方式にかわり、
全ての出荷製品を一カ所に集め、配送ルート毎に自動ソーターで仕分けの後、
配達順に積込むクロスドック方式を実現するセンター

配送センター : 製品をケース単位で出荷

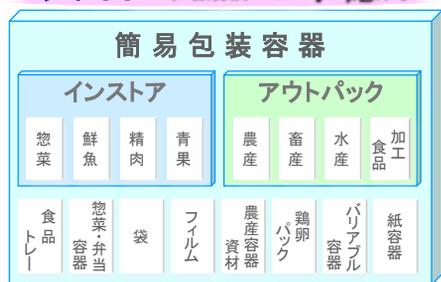
ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材別に、それぞれ選別

マーケットへの取り組み

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野での優位性確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

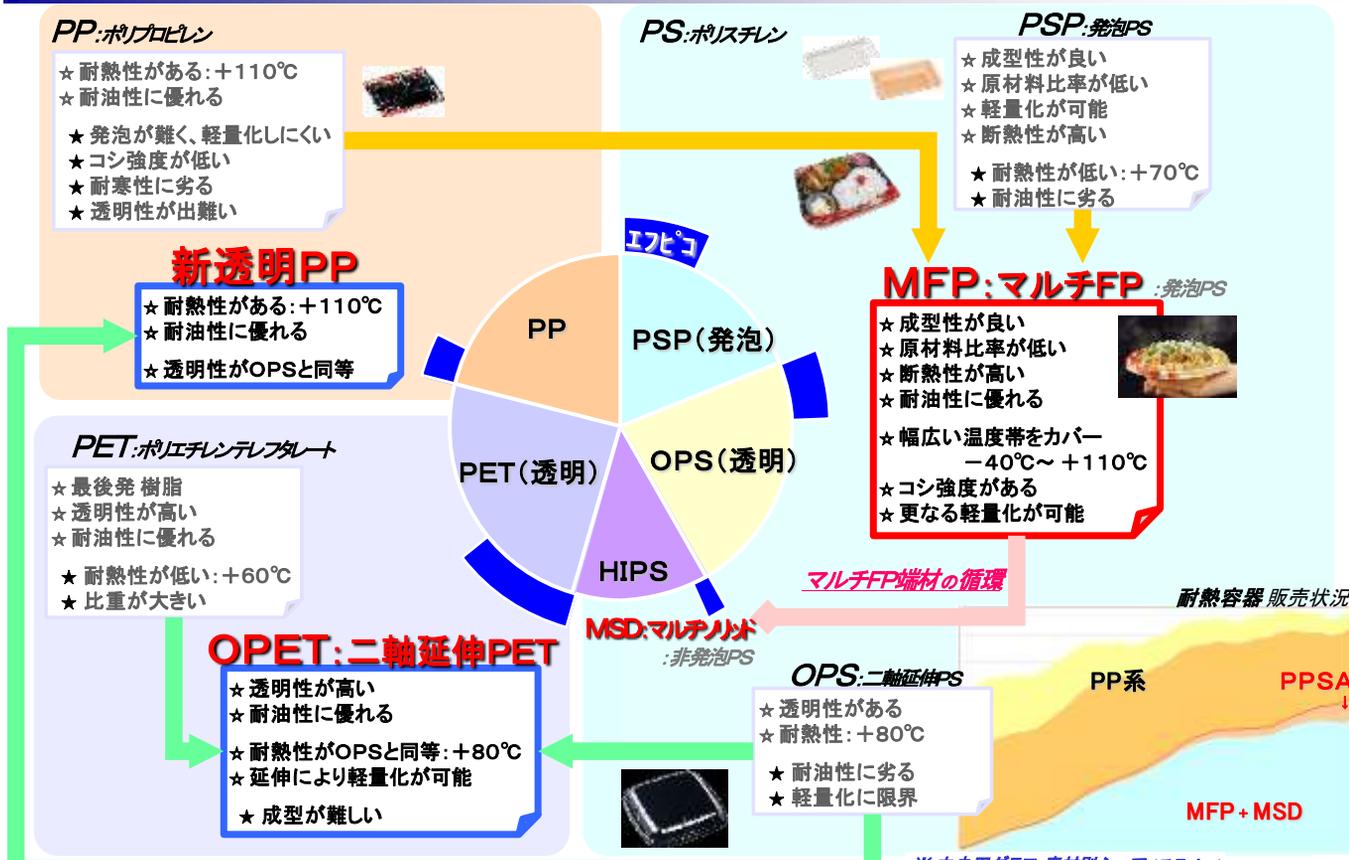
エフピコ物流・アイロジック

エフピコグループカ

製品・素材力 提案力 調達力 物流力 **SCM** 環境経営 社会責任 インフラ

エフピコ商事
包装資材・消耗品 メーカー

世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却



耐熱容器 販売状況

